

南武線 車内温度調査を行う

鎌倉車両センター中原支所において、車両の冷房装置が稼働することによって騒音規制に抵触し行政指示書が発出されたということで、指定された番線の入出区は、常時、冷房を「切」として7月1日より乗務員には空調服を貸し出して、出区点検をしているとの情報を受けました。深刻な問題であるという認識のもと、お客さまのサービス低下に繋がっていないかなど、南武線、鎌倉車両センター中原支所の調査を行いました。

調査結果

8月上旬 天候 晴れ 18:00
外気温31℃ 電留4番線 車内温度36℃

全て敷地外での調査

- 8月中旬 天候 晴れ 外気温34.7℃
- ① 1606F 電留5番線 武蔵中原駅据付時点の車内温度 26.3℃
体感温度 涼しい
 - ② 1618F 電留3番線 武蔵中原駅据付時点の車内温度 32.2℃
体感温度 涼しい

まとめ

お客さま目線では、涼しかった。外が暑いので、乗車すると車内温度は高くても、冷房からの送風が体に当たるので涼しいと感じた。夏場に車の中や家の中に子供を放置し死亡する事件・事故が多発し、社会問題となっている。屋外とは違い、風も当たらない電車内での出区点検や構内入換、仕業検査、清掃の過酷さは容易に想像ができる。空調服を着ていても気温が高ければ熱風を掻き回しているだけであって「無いよりマシか」というレベルでありあまり効果を感じないという。調査した日は、仕業検査の方は空調服を着用していなかった。出区点検の乗務員も空調服を着ている人は1人もいなかった。空調服は根本的な解決になっていないようだ。

現場で働く社員の意見を基に
より良い対策を検討していきます!